

# 喜びのタネまき新聞

読む人の幸せを心に願って作る

## 今日も、いい日で

「わが家にとってくるダスキンさんは、三歳と六歳の娘を子育て中だそうですね。その若いママから、誕生日おめでとうございます」と電話をもらいました。誕生日などすっかり忘れていたので、一日、幸せな気分になりました。とつても感激していました。きっとモップを換える時に話していたのでしょうか」。岡山県備前市の有本澄子さんのおたよりです。

胸が熱くなった有本さんは、誕生日が同じ友だちがいたので自分も電話をしたそうです。

「きょうは誕生日ね」。すこし前にご主人を亡くされた方だったので、そつと伝えました。すると「覚えていてくれたんですね」と、電話をした友だちにとっても喜んでもらえたので、ますますいい一日になりました。と書かれていました。

有本さんにお電話をしたのは、同じ町のお客様係、小林留美さん。結婚し埼玉から備前へ、人の顔が見え

る仕事が多すぎて、レンタルをはじめて一年。「働いていると楽しいことばかりではないけれど、愉快なことや人の気づかいに励まされることがあります」。はずむような声の人でした。

ダスキンの仕事は、お客様とお客様係という関係を越えて、心からの友だちのようであつてほしいと願っています。

株式会社ダスキン会長

伊東英幸



写真・市谷 健「七夕の、星に願いを、なんちゃって」

葉っぱのアトリエに、野菜くんが加わって  
いっそうにぎやかになりました。  
今回は人類とともに生きてきた「小麦」の世界へご案内。  
その奥深さは葉っぱといひ勝負です。

小麦色の日々



小麦／紙にテンペラ

人類の原動力

パンだって、クッキーだって、これなくしては始まりません。世界中で古くから栽培されてきた人間の原動力植物、小麦くんには挑戦！一本一本、一粒一粒を大切に作る気持ちで、汗ふきながら描きました。

小麦と長い旅

- 六月二十二日 昨夜、シャープペンで薄く下書きした一本の小麦を描き始める。全部で五本描く予定。なんか気合入っちゃうな！
- 六月二十三日 「小麦、小麦！」とアトリエへ。なぜか隣室のゴミの山（私ではないけど）を片づけることになり、大家さんが「お礼に」と、豪華うどんセットをご馳走してくれた。うどんに姿を変えた小麦を食べて、つるる思いを蓄える。
- 六月二十七日 二本目の小麦に悪戦苦闘。描く面積が少ない分、むずかしい。この小麦が人類を支えてきたんだと思うと、手抜きはできない。
- 六月二十八日 長く伸びた茎が体に当たって描きにくい。思い切ってハサミでカット。剣山に立てて描く。

- 六月二十九日 三本目に突入。細い茎が光の加減で微妙な色合いに輝く。見る角度によっても、表情がコロコロ変わり、別人の顔。いったいどれが真のまの顔？ 悩ましい。横にしたり、立てたり、いろいろな角度から見えて描く。



●七月三日 今日もアシナガバチがアトリエ内を旋回。昨日叩き落とした巣の跡地に、また巣を作り始めた。鼻歌が聞こえそうなくらい楽しげに。葉っぱのアトリエがアシナガバチのお家になっても、まっ、いいか。ともに暮らそう！

●七月十九日 いよいよ梅雨明け。暑い！一粒一粒表情の違う穂先を、倍率二倍の虫眼鏡レンズのメガネをかけて懸命に描く。

●七月二十二日 気温はぐんぐん上がり、夏本番。残る一本も仕上がりに、ついに絵が完成。うれしい！ けど、へろへろ。小麦の旅は長かった。

アート&エッセイ。  
『木の葉の美術館』『木の葉の宝宝箱』  
(各2100円)。  
最新刊『街路樹 葉っぱの詩』(B5判232  
ページ/2310円)いずれも世界文化社刊  
(価格は税込み)。

●  
群馬直美/群馬県高崎市生まれ。  
東京都立川市在住の画家。  
作品はインターネットでもご覧になれます。  
<http://www.wood.jp/konoha/>



お料理研究家 こいけりえ

# おやつ時間

簡単、美味しい楽ラクレシピ



とくべつ材料や手間はなし。いいわあ！  
「ひんやりチョコムース」

材料は板チョコ、ゼラチン、生クリーム。費用がかからず、作り方も簡単、しかも美味しい。こんな三拍子揃った手作りおやつは、そうはないと思います。が…。火を使わないので、小さなお子様と一緒に安心して作れます。夏休みの思い出の一つとして、ぜひチャレンジしてみてください！

## ◎作り方(4人分)

板ゼラチン1枚(1.5g)をハサミを使って約4分の1の大きさに切り、かぶるくらいの水で浸したら、冷蔵庫で冷やしておく。市販のブラックチョコレート100gを包丁で刻んで耐熱ボウルに入れる。刻んだチョコレートを湯煎にかけて、ヘラで混ぜてしっかり溶かしておく。湯煎は、50〜60℃くらいの温度で、熱湯でなく少し冷ました感じ。ゴムベラなどでしっかり滑らかに溶かす。

水でふやかしておいたゼラチンを、手でキュッと絞ってから耐熱容器に入れ、ふんわりとラップをかけて、電子レンジで約20秒加熱する。ゼラチンの量が少ないので、加熱しすぎないように



① 気をつける。加熱したらスプーンでしっかり混ぜる。溶かしたチョコレートの間に、泡立てた生クリームを加えて混ぜ合わせる。

② しっかり混ぜたところで、溶かしたゼラチンを加え、さらによく混ぜ合わせる。仕上げにお好みでグラマンニエ(オレンジリキュール)を小さじ2入れると、香りがよくなりますが、なくてもOK。

③ 大き目のスプーンを使って、グラスに均等にふくらと入れ、ラップをかけて冷蔵庫でしっかりと冷やします。小高く真ん中がふくらむように入れると、仕上がりがきれいになります。

## ◎仕上げ

トッピング用の木の実(ピーナッツやクルミ)は、キッチンペーパーで挟み、上からめん棒などで叩いて細かく砕いておく。

冷蔵庫でしっかりと冷やしたムースの上に、砕いたナッツと、粉糖をかければ完成。

みてもらおう！



まぶしい1日。  
ふたごちゃんです。  
福井県勝山市 川村陽子



「最強のおもちゃはコレ！  
たまりましえんか」  
岩手県藤沢町 千葉さかえ



「ロン毛だけどボクだよ。いま3つ。」  
東京都杉並区 赤津さみ子

家族や友だちにしか撮れないステキな笑顔、みんなに見てもらいたいわたし好みの1枚。もちろんかわいいペットも撮れたら送ってください。お待ちしております！  
(詳細は7ページ)

ふ〜ん、へ〜ん！  
理科つてこんなに  
面白かったの！

理科嫌いや理科離れが言われ、今年が文部科学省が予算を15倍にしたそうだが、「そんなのウソッ」と言いたいくらい、理科ハウスは面白い。

身近な物を使って実験を体験することを通して、自分の身体から宇宙まで、世界に満ち満ちている不思議に気づかせてくれる。また、そのナゾが解けた時の発見！子供も大人もうきうき楽しくなる。

平日の午後1時の開館時にお訪ねしたら、もう子供達が来ていて、館長の森さんが迎えてくれた。

「初めは自分の子と科学遊びをやりたくて、家でやっていたら面白くて…」。ミニコミ紙に遊び方を掲載し、友達や図書館に配るうちに、親子関係の良いツールになると、PTAの行事や親睦会にも呼ばれはじめた。もう15年ほど前からという。学芸員として活動している山浦安曇さんもお友達だ。

「子供は習った言葉は知っているけれど、その中身を知らない。体感することが大事」と口をそろえる。



片方を動かすと止まっていたもう片方が動きだす。代わりばんこに動く「共振ブランコ」は上の木材が振動を伝えるから。音叉が共鳴するのと同じ。

# 女性がはじめた 「世界一小さな科学館」 理科ハウス



右が森裕美子さん、左が山浦安曇さん。Liはリチウム、Caはカルシウム、H水素、O酸素、Uウラン、Seセレンで、つなげると理科ハウス。



森さんが見つけた祖父の石原純博士の本。



入館料は大人100円、子供は無料。(ここに置いてね)からお金を入れると、途中にある超強力なネオジム磁石で、金属に落ちにくい力が働いて、10円とか100円が分別されるんだって。ふ〜ん。

神奈川県逗子市にある「理科ハウス」。館長の森裕美子さんが私財を投じて開設した。「世界一小さな科学館」は明るい光の入る大きな窓、靴を脱いで入る木の床の2階建て。昨年5月にオープン以来、驚きと発見の声がいっぱいの感動ハウスだ。

科学に興味をもったのは、祖父のおかげかな

森さんの祖父、石原純博士(明治14年生)は理論物理学者。大正時代、アインシュタインが来日した時は講演の通訳を務め、相対性理論の本も著し、新しい科学を広めることにつくした。

その祖父が子供向きに著した「ぼくらの実験室」を実家で見つけ、わかりやすさと楽しさに感動したことが科学遊びのきっかけ。また、05年に父上が逝去、祖父の関連資料を引き継いだことから、父上の遺産を用いて科学館を作ろうと決意した。

森さんの、どこか美的とも思えるセンスは、アララギ派の歌人でもあり、科学ジャーナリストでもあった石原博士の祖父の血を受け継いだものか。

理科ハウス全体は、楽しさの中にもすっきりと理知的な印象だった。それは、山浦さんと二人の共同のデザイン力だという。

「この場所があるからできるのですが、小さいからこそ出来ることがあると思うし、小さくても試験的にやれることはやりたい。体験してみないと分からないから来て！」深く納得のお言葉でした。

偏光板を使った時



偏光板なしで目を見た時



偏光で色が変わって見えるチョウチョ。違うメーカーのセロハンテープを貼るのがポイント。偏光板を使って見ると羽がキレイ! なお、カメラを通してみると色が見えるのに、偏光板を使わずに撮影すると、色が出ない。これにもびっくり。なんでえ〜?



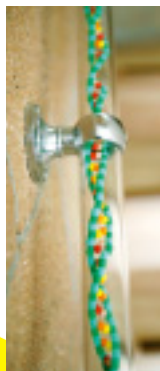
階段の手すりのアクリルパイプの中にはビーズで手作りのDNAの模型が。



吹き抜けになった2階からのぞくと、下ではスライム(ゼリー状の物体)作り。

スパゲッティ・トングに糸をつけ、左右の指にまき、指を耳の穴にいれ、机にちょっと打ちつける。すると! 「グォーン」とミラノの大聖堂ドゥオモの鐘が響きわたる。大人も夢中の「この感動!」は骨振動で聴く音の実験だ。

ハチの仲間はた〜くさんいて、顕微鏡でないと見えない位の小型も。「蜂の分野はまだ研究がほとんど進んでいないので、今からでもやれば、すごい学者になれるかも」だって!



重りが入っているヤカンが1つだけあります。さて、何番でしょう? モビールのヤカンの重りは二週間ごとに取り替える。「番号を覚えてもムダ。ふふ。考えなくてはならないの!」と山浦さん。



## 先生の教え

岩手県矢巾町 阿部敬悦

私と私の長男、2代が同じ小学校でお世話になったトク先生。41年前のある日の放課後、階段の掃除当番だった私は、ひとり汗を流しながら、雑巾がけをしていました。そこへ来た先生は、「力のない時は知恵を。知恵のない時は汗を出しなさい」とにっこりしました。数年前にそのことを先生に話すと「ごめんなさい。そんな失礼なことを言ったかしら」と謝られました。

でもこれを私の人生訓として、挫折しそうな時はいつも、この言葉を支えに頑張ったと話すと、「とても光栄に思います」と答えてくれました。

家庭訪問の時に、先生は歩きながら私に、「人が死んだら、あの白い山に行くのよ」とおっしゃって山を見上げました。亡くなられたトク先生が、今は早池峰山から、こちらの方を笑顔で見つめられるように思います。

——いつまでも忘れませんでした……



## しらが染め

秋田県湯沢市 柿崎栄美子

高校生の息子が、私のためにしらが染めを買ってきた。次女は化粧ケープ。…頼んでませんよ！でも、買ってきてくれたのだから、染めなきゃ。

私、生まれて初めて、髪を染めます。結婚してから化粧もしてない。けど、若い頃はキレイに塗ってましたよ。メガネじゃなく、ちゃんとコンタクトレンズだったし。息子に染めてもらうこと15分、よくできた息子だ。しらがは目立たなくなっただけど、主人も誰も気づいてくれないのがガツカリだった。今度買ってもらう時は、もうちょっと茶系とか赤っぽい色がいいかなあ。

その主人とお昼。おいしいおソバだけど薬味のネギも七味唐辛子も切らして、そのまま食す。「味も素っ気もない」と言う主人にすかさず「私達みたいじゃない」と返す。熟年夫婦、空気みたいってやつ。座布団一枚！だよネ。

——いつともは気がかない。けど、空気がだいじだよー



## ごめんね

秋田市 島山輝美

小学生の長男が2年生になる頃、二人目の長女を出産。産休を終えて仕事に復帰すると、その忙しさは想像以上で、ついつい長男に小言を言ったり、時には大声を張り上げることも増えました。

先日、私が仕事中にハチに刺され、手が痛いことを長男に話すと、「ママは手が痛いから、いい子にしてなきゃだめだよ」と、生後5カ月の長女に話す声が聞こえました。また、オムツのある棚にオムツが1枚もないことに気付くと、きちんと補充してくれていました。忙しさから、ついつい長男の優しさや、良い所に目を向ける余裕がなくなり、辛い思いをさせてしまったかもしれないと反省し、「ママ、あなたのいい所いっぱい知ってるよ」と、心からの言葉で褒めました。「怒ってばかりでごめんね」と謝ると、「怒ってくれなきゃ、立派な大人になれないから、怒ってくれなきゃ困るんだよ」との返事。子供って凄いですね。

——もしかし大人よりえらい……



## おふくろの味

熊本県八代市 岩本愛

最近「おふくろの味」と言うものを食べたくなる。実際、母と離れて暮らしているため、年に二回くらいしか食べることが出来ません。私の母は本当に料理が上手で、私も真似て作りますが、やっぱりダメ！味が違いすぎるのです。

今、母となった私が願うことは、自分の子供が大きくなって、家を出て生活するとき、「あ〜、お母さんのご飯が食べたいなあ〜」なんて思ってくれること。私の手作りのご飯をたくさん食べてもらって、いつか結婚しても、

「やっぱりお母さんのご飯がいいな〜」なんて思いながら、お嫁さんのご飯を食べて欲しい。(イジワルな私です)。息子はまだ4歳でママが大好き。私も将来「おふくろの味」と呼ばれるように愛情込めて料理をしたいと思います。

——ふひ、本音は口にチャックしてあかないと……

道をふみ固める

「ふんでいくことで道が出来る」という積極的な生き方をして、

あなたがまず、その道づくりの努力をする人になっていただきたいのです。

何事によらず、出来上がってしまったのを見る時は、こんなものか、と軽く見られやすいのですが、実は、つくりあげるまでの努力、

ぶちこわしてはまたやりなおし、またやりなおして、あちらもたてこちらもたて、やっと、形になるまでは、

大変なものである、という認識を新たにしたい。

鈴木清一

うれし、はずかし、花冠のヒメ♪



愛媛県大洲市 清水禎子

●みなさまからお寄せいただいたお話をもとに新聞をつくってまいります。どうぞ、あなたが体験した嬉しかったこと、誰かに聞いてもらいたいことなど、身近な話題をお寄せください。

●投稿には、名前、年齢、職業、住所、電話番号、現在ご利用のダスキンの店名をお忘れなく。紙面やホームページでご紹介させていただいた原稿や写真にはお礼をさせていただきます。

●送り先  
〒163-0232 東京都新宿区西新宿2丁目6番1号  
新宿支店新宿住友ビル内分室 私書箱 第47号  
ダスキン「喜びのタネまき新聞」編集室  
電話 03(5909)6703  
e-mail: koho4@mail.duskin.co.jp

無料 おそうじ相談 実施中!  
ダスキンコールセンター  
平日の9:00~17:00  
0120-100-100

●2ページの群馬直美さんの連絡先は  
〒190-0013 東京都立川市富士見町2-32-27 石田倉庫No.3 2F

●4-5ページの「理科ハウス」の連絡先は  
〒249-0003 神奈川県逗子市池子2-4-8 Tel&Fax:046-871-6198  
休館日:毎週月曜日と金曜日(臨時休館あり)  
開館時間:平日は13:00~17:00、土日は10:00~17:00  
ホームページ:http://licahouse.com/

トカゲ

千葉県八千代市 澤本すえ子



先日、庭で洗濯物を干していた時のことです。ふと目をやると、開放されている玄関から中の方へ、薄茶色で3センチほどの、生まれたてのトカゲの子が入って行くのが見えました。

草のある方が良いだろうと思い、外へ出してあげようと、そっとつまむように捕まえた時です。なんと！小さな声で、

「ジージー」と鳴きました。トカゲも驚いたんでしようが、私の方がビックリ。

(「スゴい！トカゲって鳴くんだけ」と思いつつ、外へ放つと、草のある方へサササッと逃げていきました。(よかった！)70才になっても新しい発見があったことに感動。今度、公園で小さい子に会ったら、教えてあげよう」と)

——うーむ、ヤモリは(どう)でしゅっ、今度試してみよう。



ひとりぼっちに...

佐賀市 中島タカ子

私と主人と孫2人の4名で、スポーツ施設へ行きました。私が運転し、車が建物の玄関に到着。「さあさあ、みんな降りて」と言うと、主人と下の子は降りたのですが、上の子は降りません。

車をまわして少し離れた駐車場まで行き、孫と入り口に歩いて行く時、「たっちゃん、どうして玄関前で降りなかったの？」と聞くと、

「おばあちゃんをひとりぼっちにしたくなかったから」と答えたではありませんか。その言葉で、私の涙腺はたちまち湿度100%、胸には大きな圧力を感じたのでした。私はただただ彼の頭をぐいぐい撫でました。言葉も何もなく...

こんなに優しい子供に育ててくれたママに感謝！感謝！そのママを選んだパパの眼力も合格！

——泣き所をぐいぐいつかまれたの。

エコらんど 30

～ 虫が見られる町に～

『子供ホタルンジャー』を知っていますか?各地で広がっている、ホタルを守る子供たちの運動で、環境省が優れた活動に大臣賞を贈っています。今までに、腐葉土による水の浄化能力実験や、ホタルの発光パターンがどうコミュニケーションに利用されるかなど調べたグループが受賞しました。次世代を担う子供たちがホタルの研究を通じて、水をめぐる環境を守る喜びを感じてほしいという願いが込められています。近年、ホタルが復活しているような話を聞きますが、こんな活動もあったのですね。



環境コラム「ecoらんど」にみなさまの身のまわりのエコ話をお寄せください。